

申込方法

開講日1週間前の16:30(必着)までにお申し込みください。

※予約なしでの受講(当日受付)も可能ですが、予約でのお申し込みが少ない場合、その講座を開講しないことがあります。また、定員を超える場合は事前申込者を優先いたします。ご了承ください。

※**予定通り開講する場合、特に事前連絡はありません。**開講しない場合のみご案内いたしますので、ご注意ください。

●web 申込フォーム

公開講座 HP から「公開講座申込フォーム」に必要な事項を記入し、送信してください。

●メール

右記の申込必要事項をメール本文に記入し、宛先メールアドレスまで送信してください。

●はがき

右記の申込必要事項を記入し、宛先住所まで送付してください。

●大学窓口

「申込用紙」に必要な事項を記入し、窓口受付時間内にご持参ください。

※**窓口受付時間／平日 9:00-16:30**

行事事等で窓口の取り扱いをしていない場合があります。事前にご確認ください。

※「申込用紙」は大学窓口にて配布するほか、公開講座 HP からダウンロードしてご利用いただけます。

■公開講座 HP | web 申込 / 申込用紙ダウンロード

<https://www.kaichi.ac.jp/exlecture/>

公開講座ホームページ QR コード



■宛先 | メール / はがき

開智国際大学公開講座係

メール koukaikouza@kaichi.ac.jp

住 所 〒277-0005 千葉県柏市柏 1225-6

■申込必要事項 | メール / はがき

- ①氏名／フリガナ
- ②住所
- ③年齢・性別
- ④メールアドレス
- ⑤電話番号
- ⑥希望講座名
- ⑦車でのご来校をご希望かどうか

※代表者の方のほか、参加するすべての方の氏名をご記入ください。

受講料の支払い方法

受講当日、受付にて回収致します。

★釣銭がないようにご協力ください。

交通アクセス

徒歩 柏駅東口から約 20 分

バス 柏駅東口「戸張」行バス(4 番のりば)から乗車約 10 分⇒「柏学園前」下車徒歩 3 分

★駐車スペースに限りがあります。お車でのご来校は、必ず申込時にお知らせください。(先着順)



受講上の注意

1. 講座参加中の事故等に備え、各自の責任で傷害保険等にご加入ください。
2. 個人情報、公開講座実施に関するご連絡および個人を特定しない統計情報の収集以外の目的には使用しません。
3. 講師の急病、その他やむを得ない事情により、講座を中止する場合があります。その際は、中止が決定次第、受講のお申し込みをいただいた皆様へ E メールにてご連絡いたします。
4. お申込み、受講の連絡は原則として E メールで行います。「@kaichi.ac.jp」ドメインからのメール受信を許可していただくよう、設定のご確認をお願いいたします。
5. 録音・録画・撮影は固くお断りいたします。また、講座資料を SNS 等に掲載したり、改変利用することはしないでください。



開智国際大学 公開講座係 TEL.04-7167-8655

〒277-0005 千葉県柏市柏1225-6 email: koukaikouza@kaichi.ac.jp

受付時間 9:00~16:30 (土・日・祝日を除く)



開智国際大学

KAICHI INTERNATIONAL UNIVERSITY

2025

開智国際大学 公開講座

「戦後80年」の今、日本の歩みを見直す～近世、近代、現代～

2025/8/9(土) ▶ 12/25(木)

会 場：開智国際大学
受講料：1,000 円(1回)

「戦後80年」を迎えた2025年。「昭和100年」として昭和の時代を振り返ることもよく話題になっているようですが、本講座では、戦後80年目の今、もっと広い視野から俯瞰して、あらためて日本の歩みを見直します。歴史だけではなく文学なども取り上げ、日本だけに閉じてしまうのではなく世界との関連で捉えるなど、さまざまなアプローチからこのテーマに迫ります。

テーマ講座以外にも、スポーツ・AI・文学・文化・親子講座など、さまざまな講座を開講いたします。詳細は中面をご覧ください。

テーマ講座 「戦後 80 年」の今、日本の歩みを見直す～近世、近代、現代～

1

戦後学校教育の原点「戦後教育改革」を検証する
～学校教育はどこへ向かうか？～

●講師 大木 匡尚(教育学部准教授)

●内 容 六・三制、男女共学化、社会科など新教科の開始…、学校教育の戦後 80 年の歩みは、まさに「戦後教育改革」から始まりました。この講座では、過去の新聞や資料を活用して、戦後教育改革を多面的・多角的に検証します。

●日 時 10/20 (月) 13:00 - 14:30

●受講料 1,000 円 (全 1 回)

2

小島信夫『抱擁家族』を読む

●講師 佐々木 さよ(教育学部教授)

●内 容 戦後 20 年となる 1965 年発表の小説です。中流家庭の三輪俊介の家に家政婦や米兵が来て…外部の闖入に主の俊介はどう対応し三輪家はどこへ向かうのか。「アメリカ」「家族」をキーに読みます。

●日 時 ①11/12 (水) 13:00 - 14:30
②11/19 (水) 13:00 - 14:30

●受講料 2,000 円 (全 2 回)
※ 1 回のみの受講も可能です

3

古文書が語る柏の江戸時代―戸張村―

●講師 野本 禎司(教育学部准教授)

●内 容 柏市内に残された古文書を読み解きながら、江戸時代における戸張村の領主(旗本三橋氏)と村役人(名主)の関係を中心に解説します。古文書から明らかになる江戸時代のリアルを学んでみませんか。

●日 時 12/05 (金) 10:40 - 12:10

●受講料 1,000 円 (全 1 回)

4

「戦後80年」と日本の政治外交：講和問題(日独比較)の検討

●講師 清水 聡(国際教養学部教授)

●内 容 戦後日本の政治外交について取り上げます。講座の狙いは講和問題(日独比較)ですが、その関連分野として、敗戦、日本国憲法制定過程、占領と経済・社会、東アジアの冷戦など、幅広い情報を扱います。

●日 時 12/05 (金) 13:00 - 14:30

●受講料 1,000 円 (全 1 回)

5

戦後80年、日韓条約60年からみた
韓国の歴史・政治・民主主義をどう見るか

●講師 坂井 俊樹(教育学部教授)

●内 容 日本人の認識が薄い植民地支配から解放された韓国の戦後史を、民主主義と歴史認識問題を中心に考え、その上で李在明政権下の韓国への向き合い方を考えます。

●日 時 ①12/09 (火) 13:00 - 14:30
②12/16 (火) 13:00 - 14:30

●受講料 2,000 円 (全 2 回)

6

伊万里焼はなぜヨーロッパでよく売れたのか？
～世界の動きからみる近世の日本～

●講師 山本 勝治(教育学部准教授)

●内 容 戦国時代の日本はポルトガル領でした。どうなのでしょう？「鎖国」中の江戸時代にヨーロッパで唯一交易していたオランダ。そもそも、なぜオランダのみ？ 世界史の大きな動きの中で、近世の日本を捉えなおしてみます。

●日 時 12/11 (木) 14:40 - 16:10

●受講料 1,000 円 (全 1 回)

親子講座 夏休みの自由研究にも！楽しい理科の講座

7

チリモンを探せ ～海の小さな生き物～

●講師 千葉 秀一(教育学部准教授)

●内 容 チリモンとは、「チリメンモンスター」のことで、食べ物である「ちりめんじゃこ」にまぎれこんでいる小さな生き物のことです。デジタル顕微鏡を使って親子でモンスターを探しましょう。

●日 時 ①08/09 (土) 13:00 - 14:30
②08/22 (金) 13:00 - 14:30
③09/13 (土) 13:00 - 14:30

●受講料 各回 1,000 円
※子ども 1 名につき保護者 1 名まで受講料無料

●注意事項
※各回とも先着 6 組まで(要保護者同伴 / 1 組 4 名まで)
※①②③回とも講座の内容は同じです。
※使用した教材(ちりめんじゃこ)は持ち帰り可能です。
※USB メモリーを持参すれば、デジタル顕微鏡に接続した PC から写真を保存して持ち帰れます。
※大人の方のみの参加も可能です



一般講座 その他のさまざまな講座

※体調に不安がある方は、あらかじめ医師の診断を受けてください。

8

ミニテニススキルアップセミナー(上級・初級)※

●講師 高橋 早苗(教育学部准教授)

●内 容 ミニテニスはバドミントンコートを使用し、ダブルスでゲームを楽しむスポーツです。大きめの柔らかいボールと短いラケットを使い、ラリーが続きやすいため、小学生から中高年まで幅広い年齢層に親しまれています。

●日 時 <上級>09/23 (火・祝)、09/30 (火) 10:40 - 12:10
<初級>10/07 (火)、10/14 (火) 10:40 - 12:10

●受講料 <上級>2,000 円 (全 2 回)
<初級>2,000 円 (全 2 回)

●持ち物 トレーニングウェア、体育館シューズ、水分補給用飲み物、着替え等

9

女性のためのボクシング運動※

●講師 小山 貴(名誉教授)

●内 容 互いの打ち合いでなく、一人でのシャドウボクシング、二人組の[ミット打ち]や指導者相手の打ち込みなどを体験していただきます。本物のグローブをはめて行います。受講者は軍手などの手袋を持参してください。

●日 時 10/08 (水) 10:40 - 12:10

●受講料 1,000 円 (全 1 回)

●持ち物 軍手などの手袋、トレーニングウェア、体育館シューズ、水分補給用飲み物、着替え等

10

日常生活に潜む比喩表現

●講師 靱山 泰斗(国際教養学部講師)

●内 容 私たちは普段から、「時は金なり」「パソコンのマウス」のように比喩を多く使用しています。本講座では、日常生活で何気なく使っているさまざまな比喩表現について、実例に基づいて言語学の観点から考察します。

●日 時 10/17 (金) 15:00 - 16:30

●受講料 1,000 円 (全 1 回)

11

アンデルセンと未明
——『人魚姫』と『赤い蠟燭と人魚』

●講師 佐々木 さよ(教育学部教授)

●内 容 子どもの頃、アンデルセンの『人魚姫』や小川未明の『赤い蠟燭と人魚』に涙した方は多いことでしょう。2 作が描く〈異類の者＝人魚〉を通して人間社会や文化を考えましょう。

●日 時 10/27 (月) 13:00 - 14:30

●受講料 1,000 円 (全 1 回)

12

AIはアイアンマンのスーツか？
～人間の可能性を拡張する生成AI～

●講師 符 儒徳(国際教養学部教授)

●内 容 AI は『アイアンマン』のスーツのように、人間を強化できるのか？ 仕事・創作・生活支援における生成 AI の活用事例を交え、誰もが安心の使い方から AI 共生社会、そして未来の技術革新まで分かりやすく解説します。

●日 時 11/28 (金) 13:00 - 14:30

●受講料 1,000 円 (全 1 回)

13

東南アジアのヒンドゥー教と中国宗教

●講師 古賀 万由里(国際教養学部教授)

●内 容 マレーシアとシンガポールには、イギリスの植民地時代に移住したインド人と中国人が数多く住んでいます。彼らが実践する祭礼から、両宗教の特徴と相違点、そして両者が混合していく様子を見ていきます。

●日 時 12/04 (木) 10:40 - 12:10

●受講料 1,000 円 (全 1 回)

14

不老不死を目指して～道教とは何か？～

●講師 三枝 秀子(教育学部教授)

●内 容 人はいつから不老不死を求めるようになったのでしょうか？ 中国の伝統宗教の一つ、道教にそれを解く鍵があります。道教は我々の日常生活の所々に溶け込んでいます。道教とは何か、一緒に探りましょう。

●日 時 12/09 (火) 14:40 - 16:10

●受講料 1,000 円 (全 1 回)

15

キャリア・デザインに活かす小倉百人一首の知恵

●講師 森谷 一経(国際教養学部教授)

●内 容 古典文学には、キャリア・デザインに活かせる知恵が詰まっています。本講座では、百人一首の名歌を通じて人生の選択や努力の意義を考察し、現代の働き方や生き方に活かせるヒントを探ります。

●日 時 12/25 (木) 14:40 - 16:10

●受講料 1,000 円 (全 1 回)